

37 期 2021-2022 年度 浜名湖ロータリークラブ週報

例会場：浜名湖レークサイドプラザ 〒431-1424 静岡県浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200 TEL・FAX 053-524-1177
E-mail hamanako@hamanako-rc.com HP http://www.hamanako-rc.com
例会日：毎週火曜日 12:30～13:30
会長：小島 明良 幹事：杉山 寿夫 公共イメージ向上委員会委員長：近藤 茂

第 1675 回例会 2021 年 7 月 20 日 (火) 晴 VOL.37 週報 No.3
点鐘：小島 明良 会長 SAA：三島 保夫 ソング♪それこそロータリー
本日のプログラム：第 1 回ガバナー補佐訪問
本日のゲスト：静岡第 5 グループガバナー補佐 石津 匡美 様 (浜松北 RC)
同 事務局次長 江間 正章 様 (浜松北 RC)

会員数 38 名 / 免除会員数 0 名 / 計算総数 38 名 / 本日の出席数 26 名 / 暫定出席率 68.42%

会長挨拶 * 小島 明良



本日は浜松北ロータリークラブ所属の石津ガバナー補佐様、そして事務局次長の江間様をお迎えしての例会となります。RI

会長そして 2620 地区小林ガバナーの方針伝達及び【奉仕デー】の件も合わせ詳しくお話し頂けると思います。石津ガバナー補佐よろしく願いいたします。

私は今年 71 才となりますが、歴代会長が会長を務めていた年齢をチョット調べてみました。自分は 29 期に入会したので、29 期以降となりますが佐原功一郎さんは 66 才、白井繁充さんは 69 才、中嶋一夫さんは 68 才、具栄作先生は 72 才、柴田浩さん、田中信宏さん、森俊幸さんは同じ 63 才の時でした。内山悦二さんは 69 才、来期の神藤雅章さんは何と 60 才の年に会長を務められます。

具先生と私は 70 代で年長組ですが、具先生は大型バイクで走り回り、私はバンド活動にと気持ちの若さを保っています。

こんな格言があります。

【年を取ったから遊ばなくなったのではなく、遊ばなくなったから年を取ったのだ】

いくつになっても遊び心は大切だと言う事です。

また、年齢には 3 つの年齢があると言われます。1 つ目は、戸籍年齢です。これはどうしようもありません。絶対に若返りません。2 つ目は、肉体年齢

です。これも体力の維持は出来ませんが若返りは出来ません。3 つ目は、精神年齢です。これが一番大切だと思えます。気持ちひとつで若返れます。

年齢を超えた会話、そして異業種間での情報交換、常に新しいものを吸収する意欲。まさに浜名湖ロータリークラブ会員皆様ではないでしょうか。精神年齢の若さを保つ為にもロータリーを続けて頂きたいと思えます。

幹事報告 * 杉山 寿夫



*配布物：

- ・1674 回週報
- ・ロータリーの友 7 月号

*回覧物：

- ・8/3(火)親睦例会出欠表

・熱海豪雨災害支援金募金のお願い

*その他：

- ・次週の例会はガバナー公式訪問合同例会です。会場が変更になりますのでお願いいたします。

委員会報告

公共イメージ向上委員会 副委員長 後藤 成生



- ・ロータリーの友 7 月号の紹介
- <横組み>
- P6 RI 会長メッセージ
- P20 ガバナーの横顔
- <縦組み>

P4 コロナ後日本はどうあるべきか
P9 この人訪ねて

スマイル報告

- 小島明良 石津ガバナー補佐様、江間事務局次長様、ようこそ浜名湖へ。今日は宜しくお願いします。
- 杉山寿夫 石津ガバナー補佐様、江間事務局次長様、ようこそ浜名湖 RCにお越しくださいましてありがとうございます。本日は宜しくお願いいたします。
- 菅沼仁司 石津ガバナー補佐様、江間事務局次長様、訪問例会ご苦労様です。本日はよろしくお祈りします。
- 中村二三男 新年度に入り、たいへんうれしい話を伺いました。R財団の運営にとって非常に大きな奉仕の一環として、メジャードナーをめざしてスタートした方がいらっしゃいます。当ロータリークラブにとっても素晴らしいことだと思います。
- 佐原功一郎 石津第5グループガバナー補佐様、江間事務局次長様、ようこそ浜名湖ロータリークラブにお越し頂きました。よろしくご指導頂きます様お願いいたします。
- 白井繁充 石津ガバナー補佐御一行様、本日は遠路浜名湖へようこそお越しくださいました。御指導宜しくお願いします。
- 柴田 浩 石津ガバナー補佐様、江間事務局次長様、ようこそ浜名湖へ。本日は宜しくお願いします。
- 神藤雅章 石津ガバナー補佐様、事務局次長様、一年間宜しくお願いします。

本日のプログラム 【第1回ガバナー補佐訪問】

国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループガバナー補佐 石津 匡美 様



今度2620地区静岡第5Gのガバナー補佐の大役の任を賜りました、石津匡美と申します。歳を重ねたことと、RCの在籍年数が長いという以外に何の取柄もありません。与えられた任務を精一杯努めますので、来年6月まで宜しくお願いいたします。

私は、1992年3月入会、2001年幹事、2014年地区副幹事、2015年には会長を務めました。特に、岡本年度の時には多くの事を経験し、地区内外の多くの方と出会い、いい経験をさせていただきました。

私のRCに関する考えは、それぞれの会員とクラブがRCの基であり、ガバナー補佐はRI会長や地区ガバナーの方針を各クラブに伝えることが、最大の任務だと思っています。従って、私はグループ内のクラブ会員の皆さんにガバナーと地区の情報を伝え、又、クラブの考え方、情報をガバナー、地区に伝えるメッセンジャーであり、それ以上でも以下でもないと思います。合わせてグループ内の連絡、調整役であると思っています。以上のようなことを基本として、会員の皆さんの力をお借りして今年度活動したいと思しますので、宜しくお願いいたします。

さて、今年度のRI会長はインド・西ベンガル州のカルカッタマハナガルRCのシェカール・メータ氏です。バーチャルで行われた国際協議会で、今年度のテーマを発表しました。Serve to Change Lives 「奉仕しよう みんなの生活を豊かにするために」。ロータリアンが奉仕するのは、人々の生活を豊かにしたいという願いからであり、奉仕することによって誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになる。そんな思いが込められています。

Grow More Do More 「もっと成長しよう もっと行動しよう」。これが、行動計画のためのサブテーマです。「もっと成長しよう」とは、会員を増やして参加基盤を広げることを意味します。その手法として、“each one, bring one” 会員1人が1人以上の新会員を入会させましょう。「もっと行動しよう」とは、より大きなインパクトをもたらす、奉仕プロジェクトの実行を意味します。各クラブが、ローターアクトやインターアクトの活動、また他の団体及び市民と共に合同で奉仕活動をする。それによってロータリークラブの公共イメージ向上を図ろうというものです。

今年度小林聡一郎ガバナーは、RI会長の方針を実施するために10項目の地区運営方針と10項目のクラブ要請事項を発表いたしました。これは既にPETSや地区研修協議会で、皆さんはご存知

であると思います。第1例会で、会長さんから今年度のクラブ運営計画をお話しされておることとしますので、私からはクラブ要請事項の内、今年度私たちガバナー補佐に強く要請された項目をお話しさせていただきます。

- 1、会員増強 **Grow More Each One, bring one**
地区全体で会員数 3,000 名に回復させよう
会員増強は、ロータリーの永遠のテーマではないでしょうか。
- 2、新クラブを、各グループ 1 クラブ設立しよう
これは、大変な要請項目です。会員の子弟が親と一緒にクラブに入りたがらない、あるいは、年配者や在籍年数の長い会員と若い会員が交流しづらい等の問題があり、会員がなかなか集まらない。それならば、若い世代で構成する新しいクラブを作りましょう。という事です。
- 3、ロータリー奉仕デーの開催 **Do More**
RI シェカール・メータ会長の要請事項でもあります。奉仕事業を 2 つ以上のロータリークラブと地域の企業、各種団体と共同で、積極的に実施することによってロータリークラブのイメージ向上に役立てよう。という事です。

以上 3 点が、最重要項目です。

特に、2 項目の新クラブの設立については、昨年 10 月 18 日の第 1 回次期ガバナー補佐会議で発表され、各ガバナー補佐は戸惑いを感じました。そこで、11 月 28 日静岡県内のガバナー補佐 5 名が静岡に集まり、ガバナー方針の諸事項の検討会を開きました。その結果、その時に各ガバナー補佐から出された意見をまとめて、ガバナーに具申しようということになりました。

それに対して、12 月 14 日にガバナーが急遽静岡に来られ、静岡県内のガバナー補佐を招集して、懇談会を開きました。その時は、当時のガバナーである志田さんも同席されました。その場で私たちガバナー補佐から、反対を含めた種々の意見を述べ、最終的には、地区の会員増強維持・拡大委員会で、充分検討いただきたいとお願いいたしました。

その際は、小林ガバナーからは、「既存クラブの会員増強が重要であり、多くの増強がなされれば、新クラブには拘らない。」との意見も出されました。ところが、地区チーム研修セミナー、PETS、地区協議会と会を重ねるにつれ新クラブ設立ありきになっています。

私としては、ガバナー方針でもありますので、「何もせずに、ただ反対、あるいは、できませんでした。」と、いうことはできません。そこで、6 月の第 2 回会長幹事会で、各クラブの会長幹事さんに 8 月の第 3 回会長幹事会までに、それぞれのクラブのご意向をお聞かせ頂きたいとお願いいたしました。

このことは、非常にむづかしい大変なことであり、大切なことでもあります。どうぞ皆さんのお考

えを会長幹事さんにお伝え願いたいと思います。以上、地区の方針の一部と、現状をお伝えいたしました。

それでは最後になりましたが、貴クラブの益々の繁栄を祈願すると共に、第 5 グループの連携と親睦が深まりますよう、みなさま方のご理解とご協力を賜りますことをお願いして、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



5 分間スピーチ

「最近感じていること」

菅沼 仁司 会員



本日は、スピーチの機会をいただき誠にありがとうございます。まず初めに最近特に自分自身が感じていることのお話を

させていただきます。

今週 22 日から楽しみにしていたオリパラが始まります。2020 年から 1 年も延期をしました。時間も経過し、色々と努力はしていても問題が起き、それぞれの立場で対応をしたのにも関わらず今日も解決できていないことが大変残念に思います。次から次へとイレギュラーが発生することで、オリパラ開催前に役員の方々は問題解決をするため最善の努力をしていますが、ご苦労の日が続いていると思います。

役割についてお願いするには調査をしっかりとしたことと思いますが、仕事の依頼をする側と仕事を真摯にする関係の情報の少なさに問題点があったと思います。しかし、時間がないので限られた中でオリパラの成功を願っています。

海の向こうでは、スポーツの話題が野球をする大谷選手が独占し、頑張っていることが大きなニュースとなり、多くの日本人が感動する中で喜んでいると思います。明るいニュースに感謝しかありません。

お恥ずかしいお話を少しさせていただきます。それは、自分の好きな仕事をしている長男から野球観戦に招待された時の、楽しかった部分と恥しかったことのお話です。

浜松駅から新幹線ひかりで、娘と二人で平日の 15 時から東京ドームへ向かいました。田舎育ちの私は、東京駅から中央線でお茶の水まで行き、各駅停車に乗り換えました。そして、息子とは水道橋駅で久々に会うことができ合流し、東京ドームの一塁側

指定席で巨人対阪神戦の試合を観戦しました。大好きな巨人軍を、ビールを片手に持ち大声を出してスタンドから応援しました。

応援した甲斐なく残念な結果が近づいてきたので、球場を1時間早めに出ることとしました。帰宅は東京駅下り21時のひかりの予定でした。

しかし、水道橋駅の乗車ホームの間違いに気が付かず、東京駅と反対方向へと進行してしまいました。しばらくすると風景の違いに気づき、あわてて息子に電話をして位置確認をしてもらいました。数分で確認ができましたので下車して東京駅行きに乗り換えることができました。今日中に帰れるか心配しましたが、息子家族に助けられて最終の22時下りのひかりで無事帰宅できました。田舎生まれの私は、都会へ出かけるときはしっかり計画をして情報を集めることが必要です。今後は迷惑をかけないようにしたいです。

=====

「戦争と平和」

近藤 武義 会員



昭和は遠くになり
けり。浜名湖ロータ
ークラブのメンバーも
私のように戦争中に生
まれた人は少なくなり

ました。多くの皆さんは戦後生まれの人達です。今日は戦争と平和について話してみたいと思います。戦争と平和と聞いたらすごいテーマと驚くかもしれませんが、内容は私の家の紹介です。実は私の家は、日本の為に4人も戦争に召集されたのです。

私の父は中国について全く話した事はありませんでした。小学校1年生位のある日、私は軍服を着て馬にまたがる父の写真をを見つけました。父に何処の公園で写した写真か聞くと、中国へ行った時のものだと教えてくれました。牡丹港に上陸し想像を絶する寒さとの戦いで死ぬかと思ったそうです。その時の出来事が軍隊手帳に書かれています。中国大陸での良い思い出はなかったと思われれます。だからこそ中国については語る事はありませんでした。そして昭和16年大連港より帰国した事が書かれています。

次男はフィリピンに召集されました。政府より戦死のハガキが届いていました。戦争が終わり3年位過ぎた真夏の暑い朝、玄関に真黒に日焼けし痩せこけた一人の男が立っていました。祖父は驚き、お前は誰だと尋ねたそうです。すると敬礼して、父上様只今帰りましたと告げたそうです。すると祖父は家を間違えて来たのかと伝えましたが、その男は何も見ずに家族の事をスラスラ話しました。昔の面影は全くありませんでしたが、よく見ると確かにどこか面影がある。祖父は自分の

子供なのに分らなかったが家に入ることを許しました。分らなかった理由として、戦死通告されていたし、フィリピンから生きて帰る人は少なかったそうです。本人は運が良かったと言って喜んでます。現在は97歳ですが健在です。

三男は海軍で、フィリピンに軍事物資を運ぶ目的で呉港から出港して直ぐにアメリカ軍に爆撃されました。大型輸送船は沈没し3千名近くの戦友は死にましたが奇跡的に救助され一命を取り留めました。その後は外航船から内航船に乗り日本の各港へ物資を届ける任務に従事しました。

四男は名古屋造船で働いていました。遺言書には両親への感謝の気持ちが書かれ、帰国が叶わない場合は僅かな貯金の半分を体の弱い弟に、残りの半分は生活費にしてください。平穏な暮らしを祈りますと書かれていました。遺言書の中には、通帳、印鑑、爪、髪の毛が入っていました。彼が召集された翌日に終戦となりました。私の家は1軒で4人も戦争に召集され国の為に命を掛けて戦いました。戦死者は1人もいません。

私は戦争中に生まれました。母は19の時でした。母乳が出ず、農家の小作人の家でしたから粉ミルクを買うことが出来ません。おもゆを薄めて私に飲ませたが受け付けず全部戻してしまっただけです。みるみる痩せて医者にご相談したところ死の宣告をされ、私の両親は諦めたそうです。父は最後の別れに水を飲ませて埋葬しようとしたが、ゴクゴク水を飲み始めました。しかし水は栄養がなく、骨皮筋衛門でしたが息だけはしていました。水だけで人間生きられる事をこの時知ったそうです。両親の懸命な努力で私は生きることが出来たのです。しかし、私は小学生になる時は4歳位の身長しかなく、1年生の中に幼稚園児がいるようなものです。毎回通信簿には栄養失調と書かれた判が5年生まで続きました。まさに戦争がもたらした悲劇としか言いようがありません。

戦争が終わって76年が過ぎました。今尚貧困から抜け出す事の出来ない私は、人生の失敗だったと思っています。これからもロータリークラブを通じて、世界の人々との善意の交流をし相互理解と親善を深め、世界平和の実現に微力ではありますが貢献したいと思っております。

プログラム案内

8月 3日(火) 親睦例会

例会時間 12:15~13:30

8月 10日(火) 特別休会

8月 17日(火) 会員増強担当プログラム

8月 24日(火) 会場監督担当プログラム